



認知症をもつ入院患者さまを支えています。

橋本 優子（認知症看護認定看護師）



皆さまはじめまして。
私は2014年の7月に
認知症看護認定看護師
の資格を取得しました。
認知症看護認定看護師
とは、認知症の発症から

終末期まで、その人らしい生活を送ることが
できるようなケアを提供する看護師です。

認知症は脳の萎縮によって記憶力や判断力
などの認知機能が低下する疾患です。今まで
当たり前に行っていた外出や食事・排泄などが
難しく感じるようになり、日常生活に支障
をきたす特徴があります。また、最近テレビ
や新聞などでも特集され“誰が・いつなっ
てもおかしくない身近な病気”と言われていま
す。しかし、病状に対するマイナスイメージ
や、介護や老後についての不安を感じるこ
ともあると思います。認知症は今の医療では
根治が難しい病気ですが、他の病気と同様に
早期診断・早期治療が大切です。早期から
治療を受けることにより、症状の進行を
緩やかにすることができると言われています。
症状の進行を遅らせ、認知機能をできるだけ
長く保つことは、住み慣れた地域での、その
人らしい生活につながるといえます。

現在、私は当院に入院されている患者さま
の認知症看護分野の問題に、看護師からの
相談に応じたり、看護師への研修会などを行
なっています。認知症の発症初期から中期の
方多くは、入院生活という突然の環境の変
化にうまく適応することが難しくなります。
そこへ身体の不調も加わり、もの忘れなど
の「記憶障害」や、時間・場所・人の認識
が難しくなる「見当識(けんとうしき)障
害」、「理解力や判断力の低下」などが
入院前よりも強くみられます。よく知ら
ない場所や、どうすればよいか分から
ない状況におかれると誰しも心細く不安
を感じるように、認知症をもつ患者さま
は日々不安な気持ちを抱えて過ごしてい
ると言えます。そのような不安な状況が
長く続くことにより、ストレスが強くな
ることで精神的な混乱をきたし、妄想や
幻覚などが現れやすくなります。精神的
な混乱は認知機能の低下を助長する要
因となるため、患者さまの不安の原因
を探り、安心して過ごしていただける
関わりが必要です。

病棟のスタッフから患者さまの相談を受け
るとまず、患者さまと面談します。患者
さまや、そのご家族が抱えている思い
を聴き、何に困っていて、どうして
いきたいのか意思を決定していくお
手伝いをします。また、混乱されて
いる患者さまに対しては病棟看護
師と検討しながら患者さまそれぞ
れの認知機能に合わせたケアを提
供します。

入院された際に困っていること、悩んで
いることなどがあれば気軽にご相談
ください。

